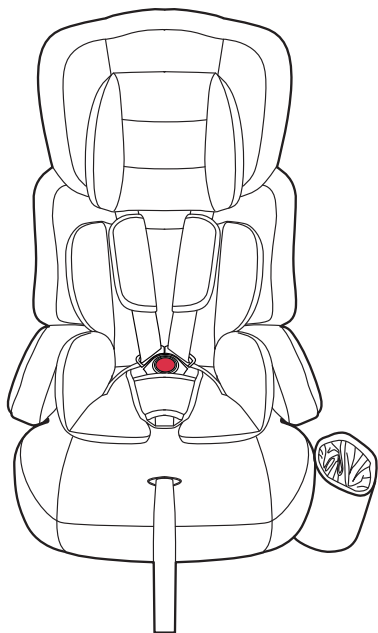


取扱説明書

Neb:o PoPPit **F**

UN ECE R44/04 適合



対象体重
9kg~36kg

保証書付き

4706E006

ご使用いただく前に




この度は「ジュニアシート PoPPitF<ポップピット エフ>」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しくご使用ください。お読みになったあとも、お手元におき大切に保管してください。

- ・本製品は汎用型（ユニバーサル）チャイルドシートです。
- ・UN R44/04 改訂において承認された商品です。
- ・UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、またはその他同等の基準を満たしている3点式ベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定されます。

もくじ

ご使用いただく前に	1
安全にご使用いただくために	3
シートベルトの種類と注意点	5
取付けができない座席	6
組立方法	7
お子さまの体重に合わせた使いかた	8
各部の名称	9
チャイルドシートモードの使いかた P11 ~ P20	
取付けの注意	11
車両の座席の準備	11
車両への取付けかた	13
チャイルドシートモードの完了確認のしかた	15
ヘッドレストの高さ調節のしかた	16
お子さまの座らせかた	17
肩ベルトの高さ調節のしかた	19
ジュニアシートモードの使いかた P21 ~ P27	
取付けの注意	21
ジュニアシートモードへの変更のしかた	21
車両への取付けかた	25
お子さまの座らせかた	26
ジュニアシートモードの完了確認のしかた	27
ブースターシートモードの使いかた P28 ~ P30	
取付けの注意	28
ブースターシートモードへの変更のしかた	28
車両への取付けかた	28
お子さまの座らせかた	29
ブースターシートモードの完了確認のしかた	30
お手入れのしかた P31 ~ P32	
シートカバーの外しかた	31
シートカバーの洗いかた	32
保管のしかた	33
本体サイズ	33
保証書	34

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがございます。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けできない座席などでは、使用しないでください。
- ・車両のシートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない時は、使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がった時、中腰になつたりしないように注意してください。
- ・チャイルドシートモードでご使用される場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモード、ブースターシートモードでご使用される場合は、お子さまを座らせた時に、車両のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- ・車に取付ける時は、車両シートベルトを取扱説明書及び本体表示に従い、正しく通して取付けてください。誤った部分を通して取付けしないでください。
- ・車に取付ける時は、必ず車両のシートベルトで固定してください。ひもなど、車両のシートベルト以外のものでも固定しないでください。



緊急時

緊急時は、保護者の方がバックルの赤いボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを外して、(ジュニアシートモード、ブースターシートモードの場合は、車両のシートベルトを外して) すみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがございます。

- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・車両のシートベルトに傷等がある場合は、その座席に取付けしないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押してしまう可能性があります。バックルタンクがバックルから外れていないことを確認してください。外れていると転落や、ベルトが首に巻き付くおそれがあります。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、必ずシートベルトガイドを使用してください。衝突時、車両のシートベルトが肩から外れて危険です。

- ジュニアシートモードでご使用の場合、シートベルトガイドは肩と同じ位の高さになるよう調節し、車両のシートベルトがお子さまの体にあうようにして、使用してください。
- ジュニアシートモード、ブースターシートモードでご使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトの時は、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸部が圧迫されます。



次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがございます。

- シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたすような場合は、助手席に取付けないでください。
- 2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席には取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両のシートベルトで取付けてください。急ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。



次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがございます。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから、使用して下さい。
- 走行中は、チャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- 背もたれ部分のみで使用しないでください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載されていない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部品やウレタンなどのクッション材を外したまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。)
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。チャイルドシートがしっかりと固定されません。
- 座席の表皮素材(革など)および、形状によっては、取付けた車両の座席に傷や跡がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用履歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

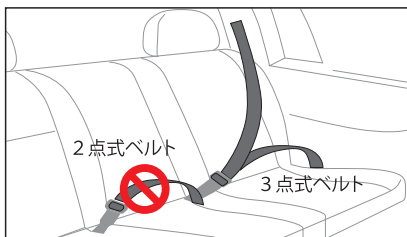
シートベルトの種類と注意点

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。

本製品は UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、またはその他同等の基準を満たしている 3 点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。



3 点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



シートベルトの種類と特徴		取付け方	
種類	特徴	チャイルドシート	ジュニアシート ブースターシート
ELR	ゆっくり引くと自由に入出しし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。	
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。	チャイルドシートの取付けが終わったら、シートベルトを全て引き出した後ベルトを戻し、チャイルドシート固定機能をきかせてください。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
NR	巻き取り装置の付いてないシートベルト。	チャイルドシートにあわせて、シートベルトの長さを調節してチャイルドシートを取付けてください。	
NLR	ロック機能のない巻き取り装置付きシートベルト。		
ALR	シートベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出せなくなります。	ALR 仕様のシートベルト車両には、使用できません。	

取付けができない座席

本製品は、前座席、後部座席共に取付け可能ですが、より安全な後部座席への取付けをおすすめします。

※助手席への取付けは、エアバッグの有無にかかわらずおすすめできませんので、適合調査は行っておりません。

次の条件のいずれか1つでも当てはまる場合は、その座席ではご使用いただけません。
※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は使用しないでください。

- シートベルトが付いていない座席。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 2点式シートベルトの座席
- パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

・・・車の座席に座ってドアを閉めると、自動的に
シートベルトを装着してくれる装置

(オートマチックシートベルト)

- エアバッグ装備の座席
※サイドエアバッグのみの場合にはご使用可能です。
- 極端なポケットシート
※座面の中央部分が深く凹んでいる座席
- シートベルトの取付け幅（シートベルトが座席の端に当たっている所から、バックルの付根までの長さ）が32cm未満の座席。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた時に不安定になる座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- シートベルトが座席の中間から出ている座席。
※チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置より、前方向からシートベルトが出ている座席。



組立方法

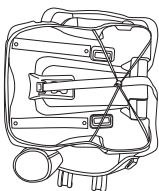
本製品は、工場出荷時は背もたれと座面が外れた状態で梱包しております。チャイルドシートモードや、ジュニアシートモードで使用する場合は、背もたれを座面に取付けて使用します。

動画で詳しく見る
「開梱時の組立
方法」

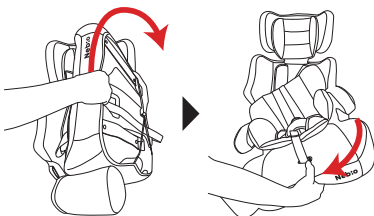


①開梱時

本製品は座面が横を向いた状態で梱包されています。



②座面が表になるよう、開きながら下図のように移動させる。



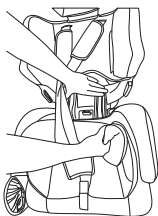
③背もたれと座面が下図のようにまっすぐなるよう、寝かせる



ポイント

このとき、ベルトにねじれがないことを確認してください。

④座面のジョイント連結部に背もたれのジョイントを押し込む



⑤ジョイント部分を押しさえながら、背もたれ部分を起こす。



⑥完成






動画で詳しく見る
「ベルトがねじれて
しまった場合」



お子さまの体重に合わせた使いかた

お子さまの体重に合わせて、3つのモードで使用します。

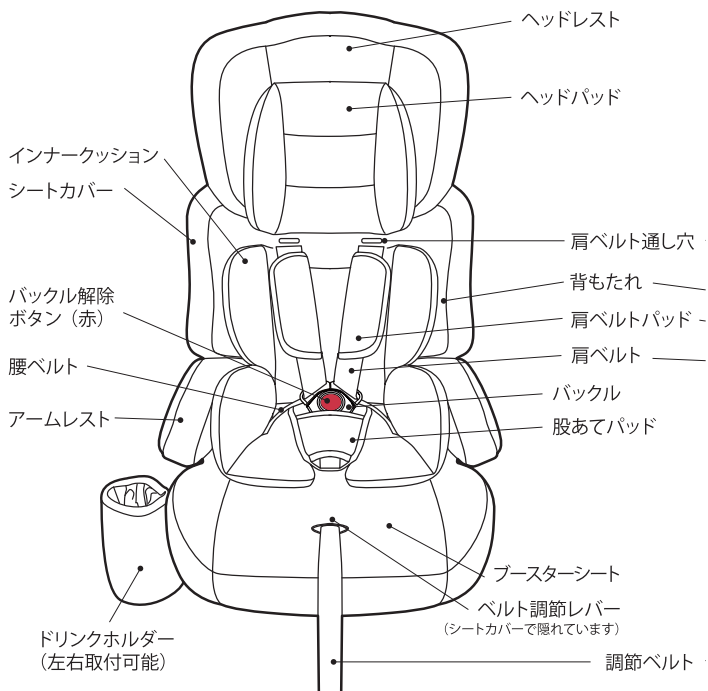
モード	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード	ブースターシートモード
使用の状態			
体重の条件	9kg 以上～18kg 以下	15kg 以上～25kg 以下	15kg 以上～36kg 以下
年齢の目安	1才頃から4才頃	3才頃から7才頃	3才頃から11才頃
使用方法	車両のシートベルトでチャイルドシートを車の座席に固定し、チャイルドシートの肩ベルト・腰ベルトでお子さまを拘束します。	チャイルドシートの肩ベルト・腰ベルトを取り外して、車両のシートベルトで直接お子さまを拘束します。	背もたれを取り外して、座面のみで使用します。

⚠
危険

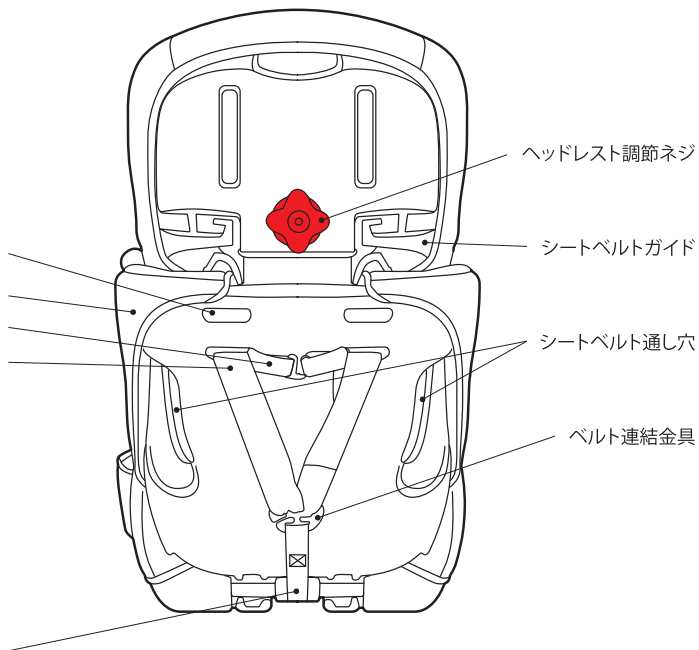
・年齢の目安は、あくまでも目安となります。
年齢が上記条件を満たしていても、体重条件を満たしていないお子さまは、そのモードではご使用いただけません。

各部の名称

前面



背面



チャイルドシートモードの使いかた(体重9kg以上18kg以下)

取付けの注意

危険

- ・チャイルドシートがしっかり固定出来ない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取付けてください。
- ・車に取付ける時は、ひもなど車両のシートベルト以外のものでも固定しないでください。
- ・エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、とても危険です。
※サイドエアバッグのみの場合は、使用可能です。

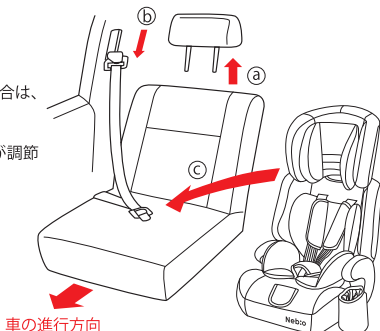
警告

- ・車両のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートに座っていない時でも、必ず車両のシートベルトに固定しておいてください。
- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたすような場合は、助手席に取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席には取付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。

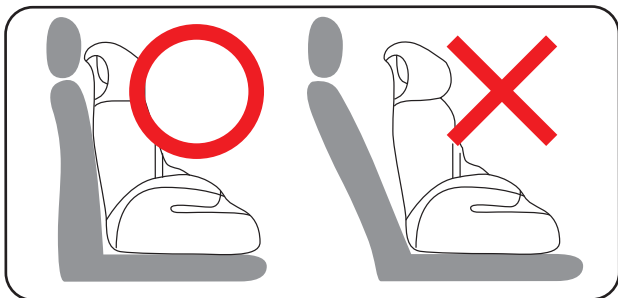
車両の座席の準備

1. 車両の座席を調節する

- ①座席のヘッドレストが取り外せる場合は、取り外す。
- ②車両のシートベルト取出口の高さが調節できる場合は、最下段に下げる。
- ③チャイルドシートを前向きに置く。



2. チャイルドシートの背もたれと、車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるように車両の座席の背もたれを調節する。



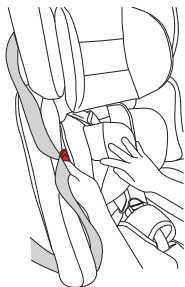
車両の座席の背もたれを寝かせた状態で使用しないでください。車両の座席を倒した状態でチャイルドシートを使用した場合、衝突時にチャイルドシートの本来の性能が十分に発揮できません。

チャイルドシートモードの使いかた(体重9kg以上18kg以下)

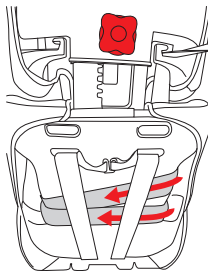
車両への取付けかた

※取り外しは逆の手順です。

動画で詳しく見る
「チャイルドシート
モード/車への取付け」

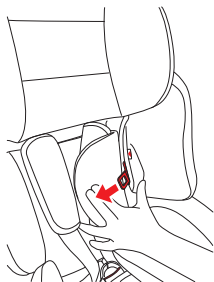


①車両のシートベルトをねじらないように、ゆっくりと引き出し、シートベルト通し穴から背面に通す。

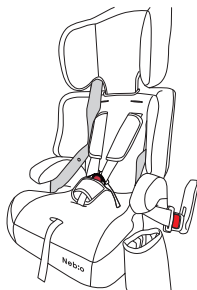


②車両のシートベルトを反対側のベルト通し穴に通す。

※必ず肩ベルトと本体の間を通してください。



③車両のシートベルトをベルト通し穴から引き出す。

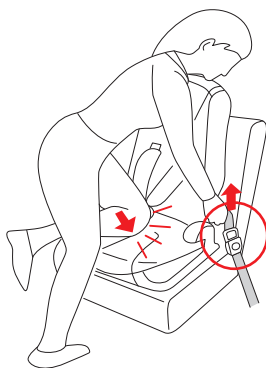


④車両のバックルに「かちっ」と音がするまで差込み、車両のシートベルトのゆるみをなくす。
(図は、インナークッションを外しています。)

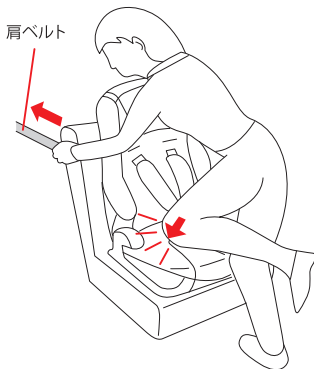
しっかり取付けの方法

車両のシートベルトのゆるみをなくし、
チャイルドシートをしっかりと固定します。

動画で詳しく見る
「チャイルドシートモード/
車へのしっかり取付け」



①チャイルドシートの座面の奥に片ひざを
乗せて体重をかけ、車両の座席にチャ
イルドシートを沈み込ませながら、車の
バックル上の肩ベルトを上にも強く引き、
腰ベルトのたるみをとる。



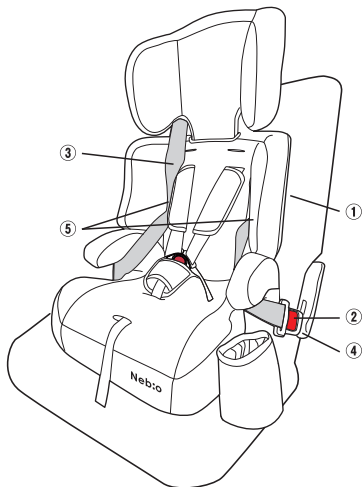
②体重をかけたままもう片方の手で、車両
の肩ベルトを矢印の方向に強く引き、肩
ベルトのゆるみをなくす。
③①と②の動作を数回繰り返し行って、取
付けてください。

チャイルドシートモードの使いかた (体重9kg以上18kg以下)

チャイルドシートモードの完了確認のしかた

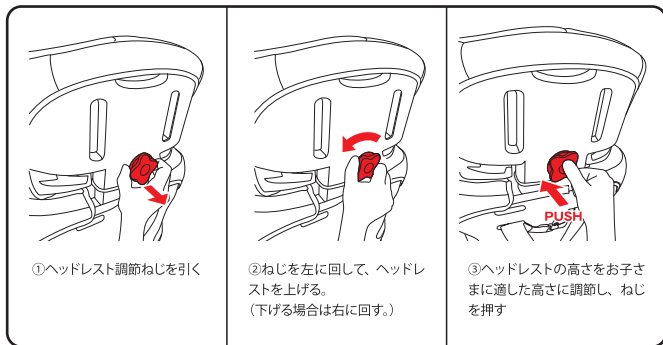
取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく取付けられているか次のことを確認してください。

- ① 車両の背もたれと、チャイルドシートの背もたれの上に大きな隙間がないこと。
- ② 車両のシートベルトの差込み金具が車のバックルに確実に差込まれており、外れないこと。
- ③ 車両のシートベルトに、ゆるみやたるみがないこと。
- ④ 車両のバックルベルトにゆるみがないこと。
- ⑤ 車両の腰ベルトが、左右のベルト通し穴を通っていること。



ヘッドレストの高さ調節のしかた

動画で詳しく見る
ヘッドレストの調節
のしかた



お子さまの後頭部がヘッドレストよりも上に出ないように調節してください。

チャイルドシートモードの使いかた（体重9kg以上18kg以下）

お子さまの座らせかた

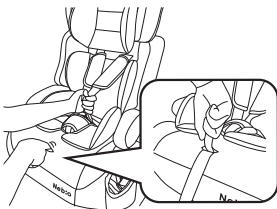


- ・かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- ・肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。

1. 肩ベルト、腰ベルトをゆるめる

ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。

※肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

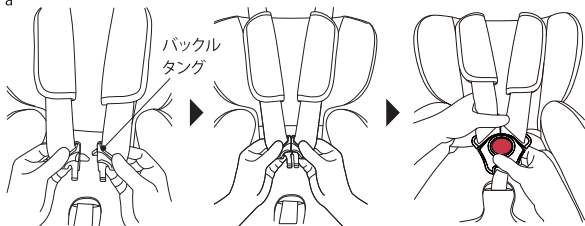


2. お子さまを座らせる

- ① お子さまをチャイルドシートに深く座らせる。
- ② 左右の腕を肩ベルトに通す。
- ③ 左右のバックルタングを組み合わせながら、「かちっ」と音がするまでバックルに差し込む。（図 a）

バックルの付け方

図 a



3. 肩ベルト、腰ベルトをしめる

肩ベルトと腰ベルトにゆるみがないかを確認して、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは危険です。

お子さまと肩ベルトのすきまは、手の平が入る程度に調節してください。



警告

- ・必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- ・肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

チャイルドシートモードの使いかた(体重9kg以上18kg以下)

肩ベルトの高さ調節のしかた

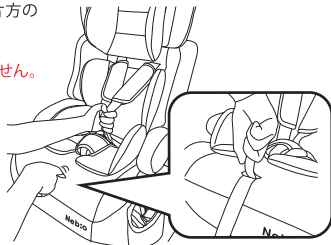
動画で詳しく見る
「肩ベルトの高さ
調節のしかた」



1. 肩ベルト、腰ベルトをゆるめる

ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。

※肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。



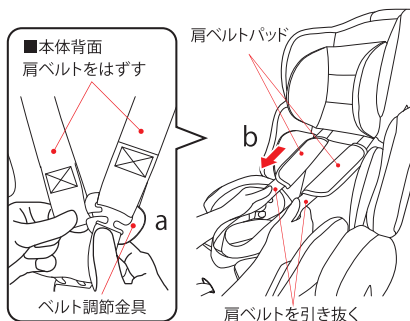
2. 肩ベルトをはずす

a 左右の肩ベルトを、本体背面のベルト調節金具からははずす。

b 本体前面から左右の肩ベルトを引き抜く。

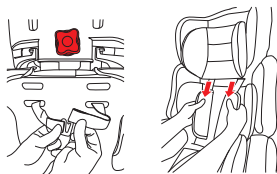
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトは外れません。

必ず、肩ベルトを引いてください。



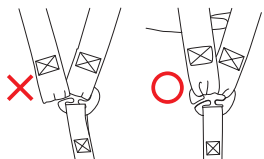
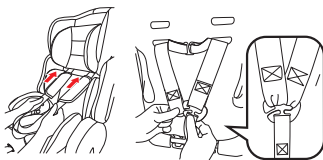
3. 肩ベルトパッドの位置を変える。

- ①肩ベルトパッドの金具を、本体背面ではなく。
- ②肩ベルトパッドを前面より引き抜く。
- ③お子さまに適した高さにしたあと、①と②の逆の手順で肩ベルトパッドを付ける。



4. 肩ベルトを取付ける

- ①肩ベルトパッドに、肩ベルトがねじれないように通す。
- ②肩ベルトを本体背面から引き出す。
- ③ベルト連結金具に肩ベルトをとりつける

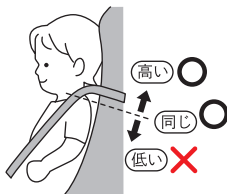


⚠
注意

2本のベルトが外れないよう
ベルト連結金具にしっかりと
かけてください。

5. 肩ベルトの位置の決め方

肩ベルトがお子さまの肩の高さと同じか、
肩より高い位置で使用してください。



ジュニアシートモードの使い方(体重15kg以上25kg以下)

取付けの注意

危険

- ・必ず3点式シートベルトの座席でご使用ください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- ・お子さまが座っていない時でも、必ず車両のシートベルトで取付けてください。急ブレーキをかけた時など、車内に転がり危険な場合があります。

警告

- ・チャイルドシート固定機能付シートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫され危険です。
- ・車両のシートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

ジュニアシートモードへの変更のしかた

チャイルドシートモードで使用していた肩ベルトと腰ベルトを取り外します。

動画で詳しく見る
「ジュニアシートモード
への変更のしかた」



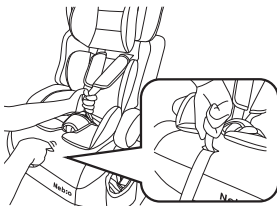
注意

チャイルドシートを車の座席から取り外してから、作業を行ってください。

1. 肩ベルトを外す。

- ①バックルタンクをバックルにカチッと音がするまで差し込む
- ②ベルト調節レバーを押しながら、左右の肩ベルトを片手で持ち、手前に引き、ゆるめる

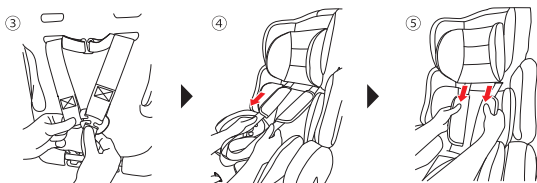
※肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。必ず、肩ベルトを引いてください。



③左右の肩ベルトを、本体背面のベルト連結金具から外す。

④肩ベルトを肩ベルトパッドから引き抜く。

⑤肩ベルトパッドを背面の金具から外し前面から引き抜く



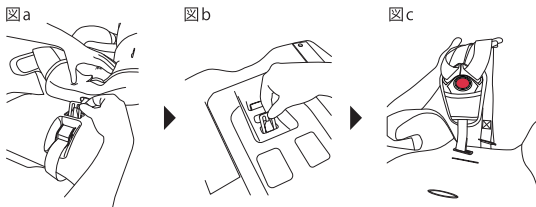
2. 腰ベルトを抜く

座面の裏側から、腰ベルトの金具をたてにして穴を通し、座面側から腰ベルトを抜く。(左右共に)



3. 股ベルトと股ベルトパッドを外す

座面のシートカバーをめくり、バックルの金具を縦にして穴を通し(図a)、裏側から抜く。裏側から同じように金具を縦にして(図b)、穴を通し座面から抜く。(図c)



ジュニアシートモードの使い方(体重15kg以上25kg以下)



警告

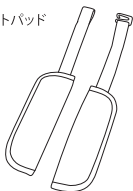
取付けをする場合は、取付け完了後、座面の表面から、股ベルトをひっぱり、しっかり取付けられていることを確認してください。



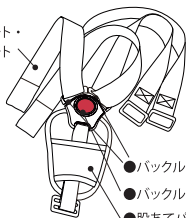
注意

・取り外したパーツは、一緒に大事に保管し、紛失しないよう注意して下さい。

●肩ベルトパッド



●肩ベルト・
腰ベルト



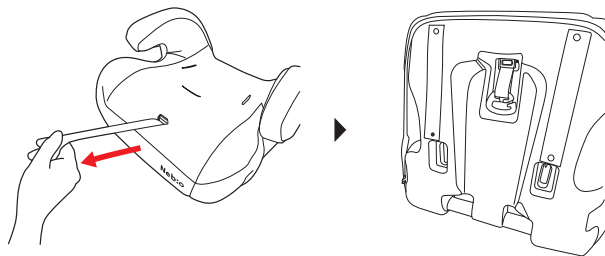
●バックルタング

●バックル

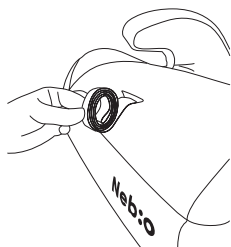
●股あてパッド

※バックルタングは紛失しないように、股当てパッドのバックルに差し込んだままにしてください。

4. ベルト連結金具を収納する



①調節ベルトをベルト連結金具が穴に引っかかる所までひっぱる。



②ひっぱり出したベルト部分を適当な大きさに巻く。



③シートのすきまに入れ込む。

チャイルドシートモードへの戻し方は、逆の手順となります。

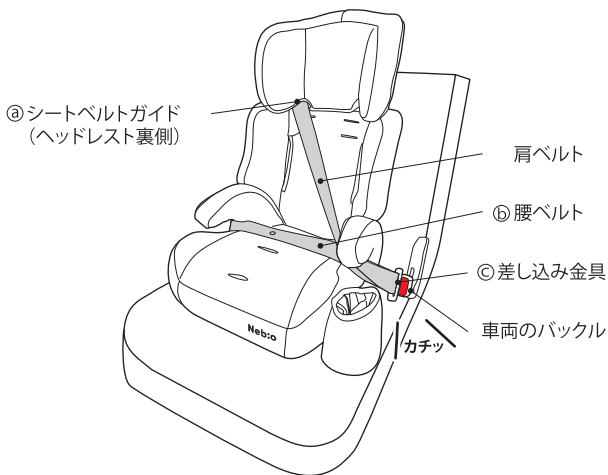
動画で詳しく見る
「チャイルドシートモード
への変更のしかた」



ジュニアシートモードの使い方(体重15kg以上25kg以下)

車両への取付けかた

1. 座席のヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
2. 車両のシートベルト取出し口の高さが調節できる場合は、最上段に上げる。
3. ジュニアシートを車両の座席に置き、車両のシートベルトを引き出す。
4. 車両の肩ベルトを、シートベルトガイドに通す。④
5. 車両の腰ベルトを左右のアームレスト下側に通す。⑤
6. かちっと音がするまで、車両の差し込み金具をバックルに差し込む。⑥



注意

お子さまを座らせていないときも、常にこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまを座らせる時は、以下のことに注意して、深く座らせてください。

警告

- ・本製品は、車両のシートベルトを締めていない状態では、不安定です。保護者の方の補助なしでお子さまが一人で乗り降りすると、車の座席からずり落ちたり、倒れたりするおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- ・お子さまが下記のように座ると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。
 - のけぞる、前屈みになる。
 - 体を左右どちらかに傾けて座る。
 - 中腰、正座、立て膝をして座る。

1. 車両の差し込み金具をいったん外し、お子さまを深く座らせる。
 2. 車両のシートベルトを引き出して、かちつと音がするまでバックルに差し込む。
- ※腰ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにしてください。



警告

お子さまの腕は、必ず車両のシートベルトの上になるようにしてください。

注意

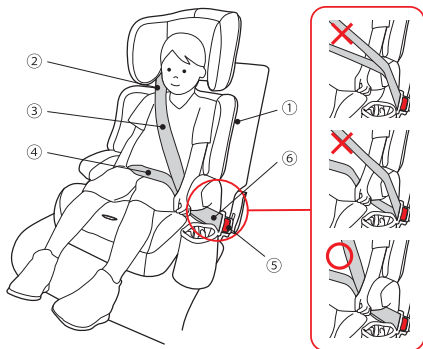
背もたれと座面の間に服を挟むおそれがあります。ご注意ください。

ジュニアシートモードの使い方(体重15kg以上25kg以下)

ジュニアシートモードの完了確認のしかた

お子さまを座らせ、車両のシートベルトを締めたら、下記の確認をお願い致します。

- ①車の座席とジュニアシートの背もたれの間に大きな隙間がないこと。
- ②肩ベルトがシートベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、お子さまの肩から外れていないこと。
- ③車両のシートベルトがお子さまの体にフィットしていて、ねじれやたるみがないこと。
- ④車両の腰ベルトがお子さまの腰骨を拘束していること。
- ⑤車両のシートベルトの差込金具が、車のバックルに確実に差込まれており、外れないこと。
- ⑥車両のシートベルトが、左右のアームレストの下側を通っていること。



警告

- ・上記項目を確認し、正しい状態でない場合は、再度取付けし直してください。それでも、正しい状態にならない場合は、その座席では使用をしないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
- ・お子さまの後頭部がヘッドレストよりも上に出る場合は、ブースターシートモードでご使用ください。そのまま使用をすると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

注意

お子さまを座らせていないときも、常にこの状態にしておいてください。

ブースターシートモードの使い方(体重15kg以上36kg以下)

取付けの注意

危険

- ・必ず3点式シートベルトの座席でご使用ください。2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- ・お子さまが座っていない時でも、必ず車両のシートベルトで取付けてください。急ブレーキをかけた時など、車両に転がり危険です。

警告

- ・チャイルドシート固定機能付シートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締付けられ、胸が圧迫されます。
- ・車両のシートベルトがたるんだ状態では使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- ・車両のシートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ブースターシートモードへの変更のしかた

- ・チャイルドシートモードから変更する場合は、21～24ページの作業を先に行います。
- ・ジュニアシートモードから変更する場合、座面から背もたれを取外します。

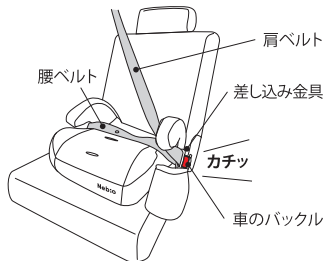
車両への取付けかた

警告

- ・車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体が車両のシートベルトからすり抜けたり、ベルトが首にかかったりするおそれがあり、危険です。

1. 座席のヘッドレストを取外している場合は、取付ける。
2. 車両のシートベルトの取出口の高さが調節出来るときは、最下段にさげる。
3. 座面を車の座席に置き、車両のシートベルトを引出して腰ベルトを左右のアームレストの下側を通す。
4. 「かちっ」と音がするまで差込み金具を車のバックルに差込む

※ヘッドレストを取付ける



ブースターシートモードの使い方(体重15kg以上36kg以下)

お子さまの座らせかた

差込金具を一旦外し、お子さまを深く座らせ、車両のシートベルトを引出す。

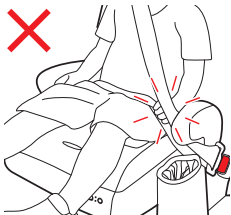
- ①車両の腰ベルトは左右のアームレストの下側を通す。
- ②「カチッ」と音がするまで、差込金具を車のバックルに差込む。

腰ベルトは、お子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。



お子さまの腕は、必ず車両のシートベルトの上になるようにしてください。

⚠
警告



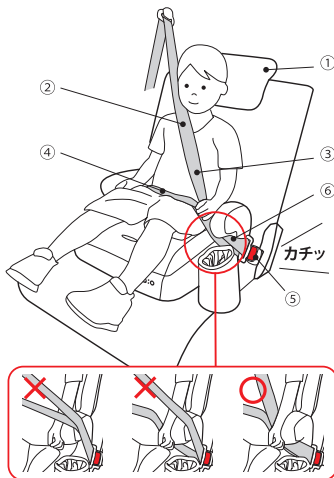
⚠
注意

お子さまを座らせていないときも、常にこの状態にしておいてください。

ブースターシートモードの完了確認のしかた

お子さまを座らせ、車両のシートベルトを締めたら、下記のことを確認してください。

- ①車の座席のヘッドレストが取付けられていること。
- ②肩ベルトが、お子さまの首を圧迫していないこと。また、お子さまの肩からずれていないこと。
- ③車両のシートベルトがお子さまの体にフィットしていて、ねじれやたるみがないこと。
- ④腰ベルトがお子さまの腰骨を拘束していること
- ⑤車両のシートベルトの差込金具が車のバックルに確実に差込まれており、外れないこと。
- ⑥車両のシートベルトが左右のアームレストの下側を通っていること。



・上記項目を確認し、正しい状態でない場合は、再度取付けし直してください。それでも、正しい状態にならない場合は、その座席では使用をしないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

お手入れのしかた

シートカバーの外しかた

肩ベルトの外しかたは 21 ページをご参照ください。

※取付けは逆の手順となります。

<ヘッドレストカバーの取外しかた>

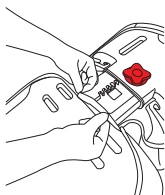
ヘッドレストの上部に両手をかけて、
カバーを外してください。



※ヘッドレストの位置をあげると、作業
がしやすくなります。

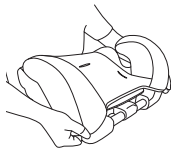
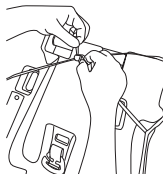
<背もたれカバーの外しかた>

- ①背面のマジックテープを外す
- ②前面からシートの両側をもち、シート
カバーを外す。



<ブースターシートカバーの外しかた>

- ①座面裏側のゴム部分を外す
- ②前面からシートの両側をもち、シート
カバーを外す。



シートカバーの洗いかた

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、手洗いをします。

洗浄後は、乾いた布等で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し

本体と肩ベルト・腰ベルトのお手入れ方法

固くしぼった布で水ぶきをしてください。

汚れがひどい時は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。

水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤の使用は絶対にしないでください。

本体やベルトを傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた / 本体サイズ

保管のしかた

安全で乾燥した場所に保管して、熱や直射日光を避けてください。

お子さまの手の届かない場所に保管してください。

チャイルドシートの上に重いものを置かないでください。

本体サイズ

奥行き：49cm

幅：43cm

※ドリンクホルダーは含まれておりません。

高さ：68cm

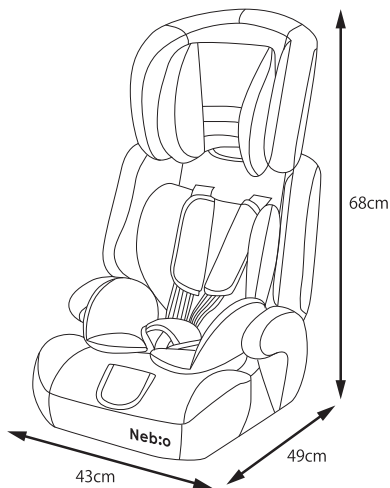
材質

本体：ポリエチレン、ポリアミド

シート生地：ポリエステル

インナークッション材及び

座部貼付クッション：ポリウレタン





輸入販売元：株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL：079-298-2279 FAX：079-292-6026

受付時間：10:00～12:00 13:00～16:00

(祝祭日を除く月～金曜日)